

常一小だより

令和2年 7月10日
松戸市立常盤平第一小学校
児童数 130名

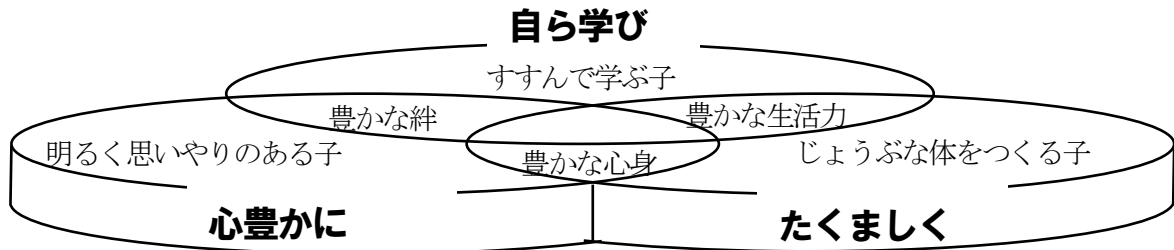
学校HPアドレス <http://www.matsudo.ed.jp/tok1-e/>

保護者会全体会でお話ししたこと

平松 澄明

お忙しい中、学級懇談会にご出席いただき、ありがとうございます。全体会のお話の内容です。

学校教育目標 自ら学び 心豊かに たくましく



「with corona (ウイズ・コロナ)」の状況で本校は、『ニューノーマル (新しい生活様式)』を築く中で、子どもたちを守りながら何を育むか。」を課題に教育活動に取り組んでいます。休校措置、そして再開後の学校生活の変化、行事の中止・延期の知らせ等が、子どもたちの心の安定やモチベーションの低下に大きな影響を与えていることが、日常生活のちょっとした変化の中から感じられます。それだけに、子どもたちにポジティブな気持ちで、落ち着いた学校生活が送れるよう、気をつけて指導し、見守る毎日です。そこで私たちが育むべきと考えるものは…、

- ① コロナウイルスに限らず様々な感染症から「自分の体を自分で守る力」 = 豊かな生活力
- ② より深い思いやりや感謝などが抱ける豊かな心 = 豊かな心身
- ③ 「学び」の楽しさと成果 = 豊かな絆 (学校で学びあい、深め合うという意味で…)

となり、これらは期せずして上図の学校教育目標の各項目の重なりと一致するものがあります。コロナウイルス禍が収束した、「after corona (アフター・コロナ)」の時代に適応できる、「生きる力」を身につけられるように、微力ながらも全力で学校運営に取り組みます。ここに、ご家庭のご協力をいただくと、より力強く、効果的に子どもたちに育むことができると思います。

(1) どんな感染症にも負けない「豊かな生活力」を育むために

健康管理の基本は、現在学校生活で取り組んでいる「規則正しい生活」と「衛生管理」です。まず、ご家庭でも、「凡事徹底 (ぼんじてっい)」という言葉通り、だれよりも実直に「早寝・早起き・朝ごはん」や「手洗い・うがい・咳エチケット」を実行していただくと、子どもたちが「自分の体は自分で守る力」をもととした「豊かな生活力」をより確実に身につけられます。

(2) より豊かな心を育むために

この社会状況下で、人々の平和な日常を守るために働いている多くの方々の姿を身近で感じることができます。また、無責任な行動が他の人々の迷惑にならないように気をつけようとする振る舞いが随所で見られます。学校では、道徳や人権教育などで、感謝や思いやり、公共心などを育むよう指導しています。心を育むためには、より良い実体験や「美しいね」「素晴らしいね」といった肯定的な感覚を共有することが不可欠です。休校措置以来、ご家族で過ごす時間が増えた上に、もうすぐ夏休みを迎えます。親子・家族で、同じ体験をしたり、同じ本を読んだり、映画や芸術や素晴らしい景色に触れたりして、温かい気持ちを育むとよいと思います。

(3) 「学び」の楽しさと成果を身につけるために

休校措置や感染拡大予防のガイドラインによる様々な制限を受けて、学習の遅れや変更があります。それを取り戻すべく、指導方法を見直したり工夫したりしています。その中で、しばしばマスコミで報道される、リモート授業や教材ソフトの活用などのためのパソコンやタブレット等のICT機器活用の有効性については、私たちも感じており、本市でもこれまで以上のスピードでICT環境整備に取り組もうとしています。

でも、これらの普及促進の影にある、ネット上でのいじめや著作権侵害、犯罪被害等が常に想定されるという問題にも向き合う必要があります。これらを防ぐためには、パソコンやタブレット、スマートフォン等の活用時の法律やきまり、エチケットを子どもたちに守らせなければいけません。子どもにとっての「ネチケット」と言われるものには、次のようなものが考えられます。

- ① 知らない人からのメールを開いたり、リンクをクリックしたり、返信したりしてはいけません。
- ② チェーンメールなどに参加してはいけません。
- ③ SNSや掲示板等は、だれが見ているかわからないので、個人情報を書き込んだり、他人を傷つける内容や悪口を書き込んだりしてはいけません。
- ④ インターネットの情報は、全てが正しい情報とは限らないので、安易に使用しない。
- ⑤ 著作権があるので、映像や音楽、文書は勝手にダウンロードやアップロードしてはいけません。
- ⑥ インターネットやユーチューブ、オンラインゲームなどを長時間やらない。
- ⑦ オンラインゲームでの課金は、保護者の管理の下で行う。
- ⑧ SNSやコミュニティーサイト、オンラインゲームへの参加には、年齢制限などの決まりがあるので、それらを守る。 等

これらは、学校でも子どもの発達段階にあわせて指導をしています。しかし、実践させるのは各家庭であり、保護者が状況を把握し、各家庭で子どもの使用する機器のフィルタリング設定をして、使用内容や使用時間、使用場所等について約束事を決めなければいけません。

子どもたちは「みんながやっている」と言います。でも保護者として、その家庭での許容範囲を厳格に伝える必要があります。また、小学生の言う「みんな」の範囲は、お家の方なら把握できる範囲であると思います。その範囲の親同士でつながりをもって、子どもたちを守ることが求められます。仮想空間の問題ですが、現実世界での人同士のつながりが、絶対的に必要です。

保護者のアカウントでネット環境にアクセスすることで、結果的に年齢を詐称して犯罪被害や課金トラブルに巻き込まれる事例が、本市の生徒指導の情報交換で報告されています。パソコンもタブレットもスマートフォンも便利で有効な機械です。自由に扱って仮想空間に独り立ちするには、小中学生ではまだ早すぎます。学校も保護者もしっかりと子どもたちを守る必要があります。コロナウイルス禍で子どもたちの生活や遊び方に変化が見られる、そんな「with corona」の時代だからこそ真正面から取り組みましょう。

まさに「断腸の思い」…

昨日、市内全小中学校の修学旅行中止が決定されました。流行拡大や「3密」から子どもたちを守り、キャンセル料による経済的負担を回避するための措置ですが、やるせない気持ちでいっぱいです。6年生はもとより、全ての子どもたちがその学年で味わうはずであった共に学ぶ喜びを少しでも取り戻せるよう、職員一同で知恵を絞って工夫をしてみたいと思います。ご理解、ご協力をお願いします。